

# 長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2020年第13週 2020年3月23日（月）～2020年3月29日（日）

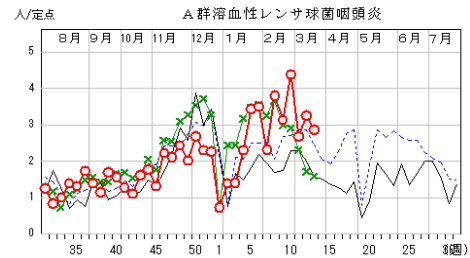
## ☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

### （1）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第13週の報告数は126人で、前週より17人少なく、定点当たりの報告数は2.86であった。

年齢別では、6歳（20人）、5歳（16人）、4歳（15人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県央保健所（8.17）、県北保健所（7.67）、県南保健所（3.20）であった。

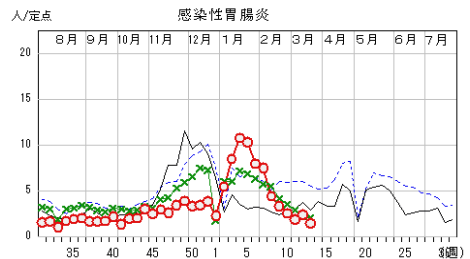


### （2）感染性胃腸炎

第13週の報告数は63人で、前週より42人少なく、定点当たりの報告数は1.43であった。

年齢別では、1歳（8人）、2歳（7人）、3歳（6人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（3.00）、佐世保市保健所（2.33）、県央保健所（1.67）であった。

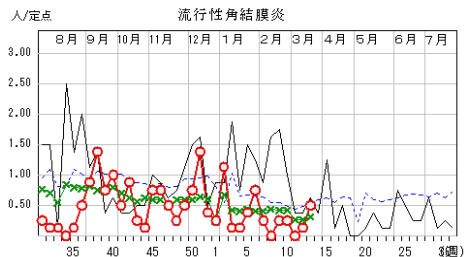


### （3）流行性角結膜炎

第13週の報告数は4人で、前週より3人多く、定点当たりの報告数は0.50であった。

年齢別では、1歳（1人）、3歳（1人）、5歳（1人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、五島保健所（4.00）であった。



○ 当年(長崎県)      — 前年(長崎県)  
× 当年(全国)      - - 前年(全国)

## ☆上位3疾患の概要

### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第13週の報告数は、前週より17人減少して126人となり、定点当たりの報告数は2.86でした。地区別にみると、上五島地区以外から報告があがっています。特に県央地区（8.17）は、警報レベル開始基準値「8.0」を上回っています。県全体で減少傾向にありますが、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により、多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。不十分な治療は無症状保菌者を生じやすいため、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いやうがいを励行し、感染防止に努めましょう。

## 【感染性胃腸炎】

第13週の報告数は、前週より42人減少して63人となり、定点当たりの報告数は1.43でした。地区別にみると、壱岐地区、対馬地区以外から報告があがっており、県南地区（3.00）、佐世保地区（2.33）、県央地区（1.67）の定点当たり報告数は、他の地区より多い状況です。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスをはじめとするカリシウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。原因微生物のうち、ロタウイルスについてはすでにワクチンが認可されていますので、予防することが出来るウイルスです。特に乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

## 【流行性角結膜炎】

第13週の報告数は、前週より3人増加して4人となり、定点当たりの報告数は0.50でした。五島地区（4.00）から報告があがっています。

本疾患は、主にD群のアデノウイルスによる疾患です。涙液や眼脂で汚染された指やタオル類からの接触感染により伝播し、小児からお年寄りの方まで幅広く罹患します。潜伏期は8日から14日で、急に発症し、眼瞼の浮腫、流涙、耳前リンパ節の腫脹を伴います。角膜に炎症が及ぶと透明度が低下することがあります。さらに、新生児や乳幼児では偽膜性結膜炎を発症し、細菌の混合感染で角膜穿孔を起こすので注意が必要です。有効な治療薬はなく、対症療法が基本となります。感染力が強いので、眼分泌物はティッシュペーパーなどで除去し、直接手で触れないように気をつけましょう。また、手洗いを励行し、洗面器やタオルを共有せず、触れた場所をアルコール等でよく拭くなどして感染防止に努めましょう。

## ★トピックス：県内で新たに3名の新型コロナウイルスの感染者が確認されました

令和2年4月1日に長崎県3～5例目となる新型コロナウイルスの感染者が確認されました。

新型コロナウイルス感染症については、インフルエンザ等の感染症と同様に、感染予防には外出後の手洗い、定期的な換気、「咳エチケット」の徹底が有効です。普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけて免疫力を高め、積極的な感染予防を心がけましょう。また、換気の悪い密閉空間、多数が集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面など感染しやすい環境（3密）に行くことを避けましょう。

～ 咳エチケット ～

- ・人に向けて咳やくしゃみをしない
- ・マスクの着用（咳をしている人には着用を促す）
- ・マスクのない場合は、口と鼻をティッシュなどで押さえる
- ・使用したティッシュは、すぐにゴミ箱へ捨てる
- ・咳やくしゃみを受け止めた手は、すぐに洗う

(参考) 長崎県 新型コロナウイルス感染症について

[https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/corona\\_nagasaki/](https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/corona_nagasaki/)

(参考) 厚生労働省 新型コロナウイルスを防ぐには

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000599643.pdf>

(参考) 厚生労働省 3つの密を避けましょう

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000614802.pdf>

(参考) 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について（外部のページに移動します。）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)

## 長崎県における新型コロナウイルス感染症発生状況

	管轄保健所	年齢・性別	類型	診断週
1	壱岐保健所	30歳代・男性	無症状病原体保有者	第11週
2	西彼保健所	20歳代・男性	患者	第13週
3	佐世保市保健所	70歳代・男性	患者	第14週
4	県央保健所	60歳代・女性	患者	第14週
5	壱岐保健所	30歳代・女性	患者	第14週

